

安心して働ける環境を。ものづくり企業の挑戦。

横手市雄物川町にあるダイヤクラフト株式会社。主にプラスチック用金型製造を行う企業だが、これまで東京に本社を置いていた同社が秋田に本社機能を移転する運びとなった経緯をお聞きした。



ものづくりに集中できる環境を求めて

東京都西多摩郡瑞穂町に本社を構えるダイヤクラフト株式会社。平成2年に法人となった株式会社クラフトが前身であり、創業者が横手市に縁があったことから平成5年には雄物川町に秋田工場を設立した。令和4年8月、M&Aが行われ、ダイヤモンドエレクトリックホールディングスグループの傘下となり、社名をダイヤクラフト株式会社に変更した。車の電装部品や医療機器などに対応するプラスチック製品の金型製作、成形加工や試作品製作を行う。

今回、本社機能を秋田に移すこととなり、秋田工場を大幅に改修。新たに材料倉庫を設けた。東京工場で使っていた機材も移設し、生産効率を高めるために作業動線を改善したという。同社の小野有理社長にお話を伺った。

「当社はプラスチック用金型製作・射出成形や高精度切削加工を主な事業としています。幅広いジャンルに対応できるようにしております」。



関係者を招き、生まれ変わった秋田工場の竣工式が行われた。



秋田県や横手市などの行政関係者が工場を見学。



移転に伴い、工場の拡張工事を行った。

経営合理性と地域活性の両面から移転を決意

親会社のダイヤモンドエレクトリックホールディングス代表取締役社長CEO兼グループCEOでもある小野社長に、今回の本社機能移転について伺った。

「どの地方でも、製造業の工場で働く人たちの多くに先祖代々が大切にしてきた田畠、祖先が眠るお墓、親の介護などその地から離れられない事情がある。やはり自分のルーツのある場所で働くことは重要であり、住み続けるために良い仕事をしてくれる。それに東北はとても真面目な人が多い。真面目さは宝だと思っています」。

今回は経営の側面からも合理的に考え、加えて地域を活性化したいという思いを持って、本社機能を秋田に移す判断をしたという。同じグループで働くことで、今まで出会ったことのない自分に会える機会を作りたい。頑張ることで認められ、安心して生活していく環境を作りたい。小野社長の真っ直ぐな熱意と、ものづくりへの真摯な思いは、雄物川町に新しい風をもたらすだろう。